



あけぼのの家 機関紙

つばさ

2011年（平成23年）
11月
創刊号

創刊号 平成23年 11月 1日 発刊

就労移行支援事業：20名 就労継続支援B型事業：40名

住所：〒651-2181 神戸市西区曙町 1070 Tel:078-925-9278 Fax:078-925-9228

URL:<http://www.hrc.or.jp/akebono>E-mail: info_akebono@hwc.or.jp機関紙『つばさ』
創刊号発行に寄せて

あけぼのの家施設長

古川 直樹

あけぼのの家は来春創立 60 年目を迎えます。

設立時から一貫して利用者個々のニーズに応じた職業的自立支援を実施してきました。

平成 19 年 4 月からは新たに施行された障害者自立支援法下の就労移行・就労継続 B 型事業という就労支援に特化した事業所に生まれ変わりました。その際、施設入所支援事業を廃止したことによって、より「働く」ことに係る成果が求められ「就職するならあけぼのの家へ」を施設のキャッチフレーズとし、自らにプレッシャーをかけていきました。お陰さまで、昨年度は 13 名の就職者を送り出すことができました。これは一事業所の数としては全国トップクラスの実績です。

地域の様々な機関との連携の賜物と深く感謝しております。また、一人ひとりの利用者が働くことを通して「今より、より良い生活や生き方」が出来ていると実感していただけたら大変嬉しいです。憲法を持ち出すまでもなく、額に汗して働き、生きがいを見出し、豊かな人生をおくる営みは、誰もが等しく持っている権利です。働くことは、障害がある人の「当たり前の暮らし」を考える上では限定的な分野にすぎませんが、この社会にあって障害は偏在するものであって、それを原因とする能力低下を就労の是非とはしないという根本的な規範社会の正義の確立を求めることこそ就労支援のスピリットであり、職員として持続したい想いであります。障害のある人の就労支援力の向上は知識で得られるものではありませんし、経験で得られるものでもありません。何故なら知識だけでは壁を突き破るパワーにはならないし、他者の経験はその人だけのものであり共有化は出来ません。就労支援の現場は何よりチームワークが必要です。利用者、職員が共通の目標に向かって頑張る体験を通してこそ様々な工夫が生まれ、そこに共有化が図られるのです。

このような利用者、職員関係者の熱い想いが溢れ、みんなが目標に向かってつばさを羽ばたかせ続けるエネルギーとなるような機関紙に育てていきたいと思っておりますので、今後とも多くの方々のご支援をよろしくお願いします。

施設紹介

○ あけぼのの家の歴史

昭和27年	身体障害者授産施設「福祉の家」として洋服科・謄写筆耕科・鉄工科・木工科・刻印科の5科目で事業開始
昭和43年	兵庫県社会福祉事業団が障害者授産施設「福祉の家」の管理経営を委託
昭和45年	「福祉の家」を「あけぼのの家」と改称
昭和57年	兵庫県宝塚更生園の廃止に伴い、第2あけぼのの家軽作業科を設置
昭和62年	第2あけぼのの家軽作業科を廃止
平成17年4月	定員 入所 40人 通所 14人
平成18年4月	定員 入所 40人 通所 19人
平成19年4月	障害者自立支援法に基づく指定障害者支援施設に移行
	施設入所支援事業 定員 40人 就労移行支援事業 定員 20人
	就労継続支援B型事業 定員 40人
	清掃科を新設、縫製科、軽印刷科、宝飾工芸科、組立工作科、清掃科の5科目となる。
平成20年4月	縫製科を組立工作科に吸収。軽印刷科、宝飾工芸科、組立工作科、清掃科の4科目となる。
平成21年5月	食品加工科を新設
平成21年8月	指定障害福祉サービス事業者の指定を受け、多機能型事業所を開設
平成21年9月	宝飾工芸科を廃止

○ 現在の利用者数 (H23/11月現在)

～ 障害区分 ～
(重複あり)

就労移行支援事業	: 19名 (男: 16人 女: 3人)	身体: 41人 精神: 11人
就労継続支援B型事業	: 42名 (男: 30人 女: 12人)	知的: 20人
合計	: 61名 (男: 46人 女: 15人)	

○ 22年・23年就職者数 (H23/11月現在)

平成22年度就職者数	: 12名
平成23年度就職者数	: 7名

○ あけぼのの家平均互賃支給実績

平成21年度	: 目標 ¥24,000 / 実績 ¥27,013
平成22年度	: 目標 ¥26,000 / 実績 ¥24,362



機関紙「つばさ」とは

命名の由来 あけぼのの家の利用者の思い……それは、「就職を目指し訓練して社会に羽ばたきたい」、「互賃アップのための作業をがんばって行ない自立生活がしたい」……そんな思い、「社会に飛び立つ」ことをイメージし、「つばさ」と名前を付けました。



第2回 就労セミナー



10月24日にあけぼのの家主催の第2回就労セミナーを開催しました。

講師としてハローワーク明石、明石市障害者就労・生活支援センター「あくと」、障害者雇用を行っている企業の方を招き、非常に勉強になる実り多きセミナーとなりました。

また、セミナーにはあけぼのの家利用者だけでなく、リハビリセンター内の他施設からも多数の方の参加を頂きました。



企業での実際の仕事の映像を見て、話だけでは解らない事も学びました。



普段なかなか聞けない話が聞けました。



積極的に質問！



求人票の読み方勉強中！



あけぼのの家納涼祭

7月27日 16:00時よりあけぼのの家食堂前で、納涼祭を開きました。

課長の挨拶と乾杯で始まり、おでん・焼きそば・フランクフルトの屋台の他、スーパーボールすくい、輪投げなど景品の当たるゲームなど約2時間、暑さを忘れてみんなで楽しみました。



おでん





障害者の

ひとりぐらし ワンポイント アドバイス

第1回

～ 住宅改修編 ～

～ アドバイザー ～

車いす利用者

(脳梗塞による左上下肢麻痺)

とりあえず今はこんなものでいいか、という改修はだめ！
納得するまでとことん話し合しましょう！

この先、10年20年暮らすことを考えてできる限りの事は
やっておこう！ 出来れば改修した人の家を見せてもらおう。

あけぼのの家 年間行事

1月 餅つき大会

8月 センター盆踊り

2月 リハビリスポーツ祭(春)

9月 観月会

5月 定期健康診断

10月 リハビリスポーツ祭(秋)

6月 家族懇談会

11月 社会見学

7月 納涼祭

年2回 避難訓練



毎月行事

毎月始

全体ホームルーム

第2・第4水曜日

スポーツ訓練

第3 火曜日

クリーンデー

第3 木・金曜日

体重・血圧測定

毎月16日

工賃支給日

焼きたてパン

AKE-BONO

—アケ・ボノ—



毎日、焼きたてを販売!

皆様のご来店をお待ちしています。

11月6日解禁!山陰の美味しい松葉がにを食べに行こう!



1泊2食(平日60才以上2名利用)
¥13,000より おすすめコースの場合

浜坂温泉保養荘

〒659-6702兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

編集後記

いよいよ秋本番となり、紅葉も色づき始めました。気がつけば今年もあとわずか。

今年はまさしく水害の1年となってしまう、悲しい事が沢山ありました。そんな中でもスポーツに関しては明るい話題が沢山ありましたよね! フィギュアスケート、女子サッカー、ハンマー投げ、新大関誕生、男子体操 etc..... 私たちも続けとばかりに「つばさ」を発行しました。

テーマは「利用者が中心となつてつくる機関誌」出来映えは・・・次号にむけて頑張ります。ハイ!